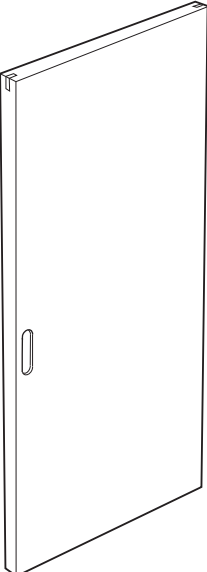
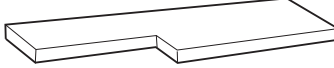
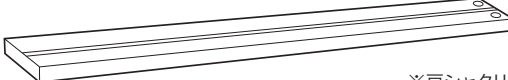
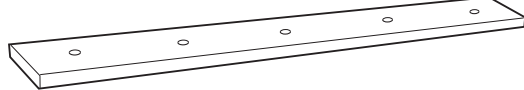

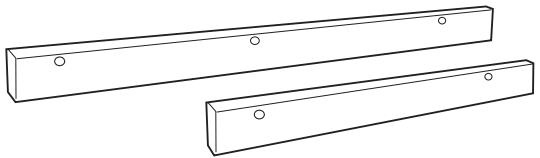


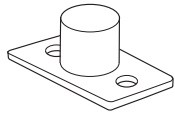
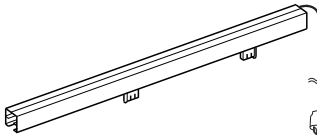
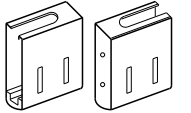
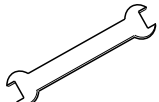

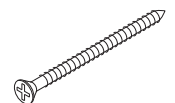


機能ドア
リニアスライドドア (自動引戸)



このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

扉 梱 包 (扉本体)	1	枠 梱 包		
		上枠	1	
		縦枠	1	 ※戸シャクリクッション付
		戸当枠	1	
		方立枠	1	
		幕板	2 (長1) (短1)	

プレ止めガイド	1	リニアモーター	1	吊車ホルダー	2	スパナ	1
 ※ビス付				 ※ビス付			
ビスキャップ	9	躯体取付ビス	15	枠組立ビス	16	幕板取付ビス	5
							

ケーシング梱包(ケーシングタイプのみ)						
ケーシング ※固定枠には付きません。	ST タイプ	縦	4		横	2
						

安全上のご注意

工事する人、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止する為、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。



この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 工事完了後、「施工後の動作確認」にしたがって試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。



警告

- 電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



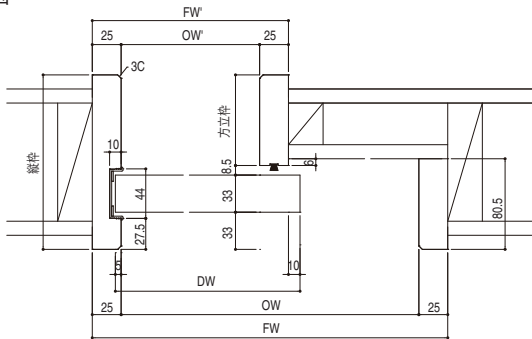
接続や固定が不完全な場合は、火災の原因になることがあります。

- 本製品に関わる配線・結線工事等は、電気工事業者にご依頼ください。
- 本製品の電源はAC100Vです。100V以外は使用しないでください。
- 本製品は屋内用です。屋外では使用できません。
- 本製品は浴室等湿気の多い場所や、直接水のかかるおそれのある場所には使用できません。
- 本製品を分解しないでください。

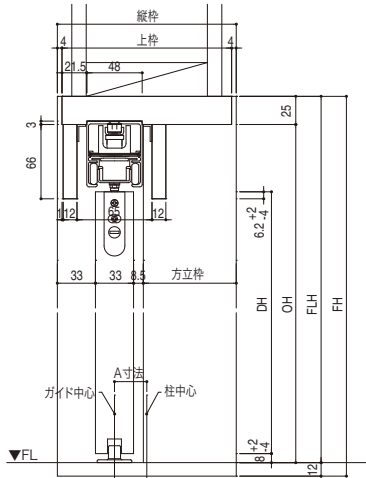
納まり図

固定枠

横断面図

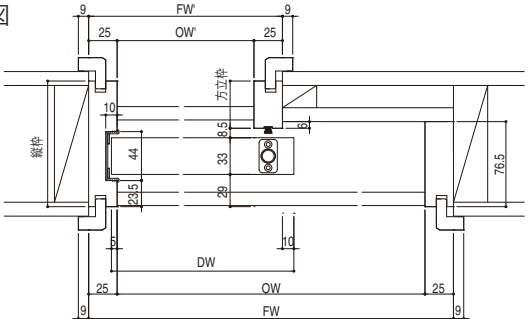


縦断面図

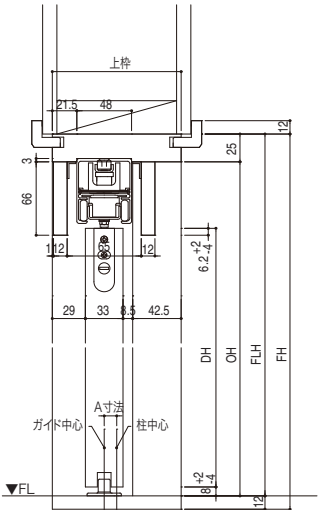


ケーシング枠

横断面図



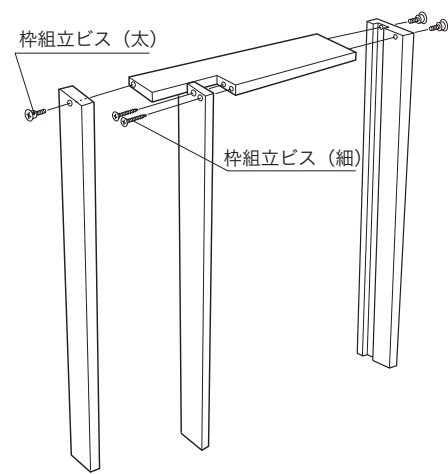
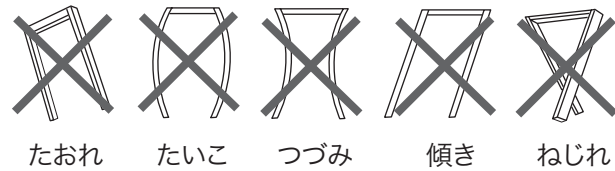
縦断面図



1. 枠の組立て・取付け

- ① 縦枠及び戸当枠、方立枠と上枠を、組立ビスで締め付けてください。
- ② 開口部の水平・垂直を確認してください。
- ③ 躯体取付ビスを使って、枠を取り付けてください。
- ④ 固定の後、方立枠や戸当枠の取付穴に穴キャップを挿入してください。

注意 吊下げ式なので、上枠は垂れ下がらないよう、しっかり固定してください。



※必要に応じて配線穴の加工をしてください。

2. 部品の取付け

《モーターの組付け》

注意

- 事前に100Vコンセントを用意してください。
- 緑色のテープはガイドレールと可動子を仮固定しているテープです。ガイドレールを枠へ固定するまでは剥がさないでください。固定する前に剥がすと可動子が落下し、可動子や吊車の損傷、怪我、床や壁の損害等を及ぼす恐れがあります。
- 戸先側の透明テープはプレートの飛び出し防止です。ガイドレールを取り付ける前に剥がしてください。
- オプションでスポットセンサー・タッチスイッチを取り付ける場合は、レールの取付け前にサブコードをコントローラに接続してください。詳細は、各オプション部品に同梱の施工説明書をご覧ください。

- ① ブラケットを固定した後、モーターを取付けてください。(必ず水平に取付けてください。)

※ オプションのご使用については裏面の「オプションの取付け」をご参照ください。

《ガイドレールの取付け》

- ① ①・㊸・㊹の手順で4ヶ所締めつけてください。
①: 両端を固定→㊸: テープを剥がし可動子移動→㊹: 中央部を固定(レールは同梱しているネジで固定しますが、取付け先の部材により、最適なネジに変更してください。また、ネジは必ず40mm以上の長さのものを使用してください。)

《戸シャクリクッションの取付け》

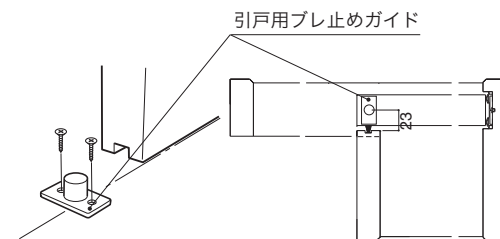
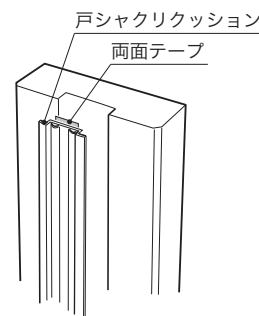
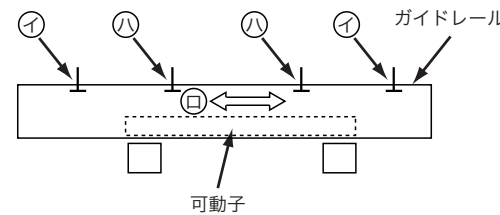
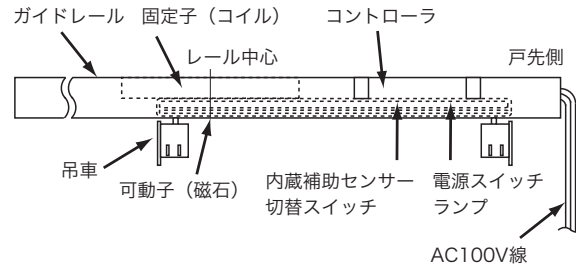
- ① 戸シャクリクッションを裏面に付いている両面テープで縦枠の溝に取り付けてください。

注意

- 戸シャクリクッションが浮かないよう取り付けてください。
- センサーの配線結合を行ってからレールを取り付けてください。詳細は、「リニアスライドドア オプションの取付方法」をご覧ください。

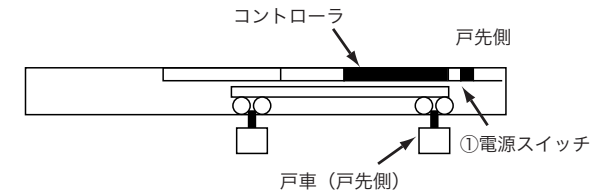
《ブレ止めの固定》

- ① 垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。

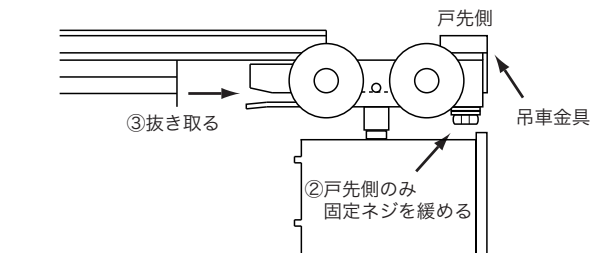


3. 扉の取付け

- ① 戸先側の吊車を電源スイッチ付近で止めてください。

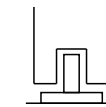


- ② 戸先側吊車の下側の吊車金具固定ネジをドライバーまたはスパナで2回転緩めてください(緩めすぎると吊車金具が外れます)。

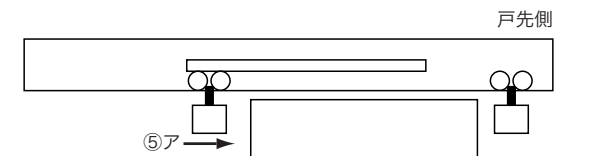


- ③ 吊車をスライドさせて可動子から吊車を抜き取ってください。

- ④ 扉の下端の溝を振れ止めに差し込んでください。

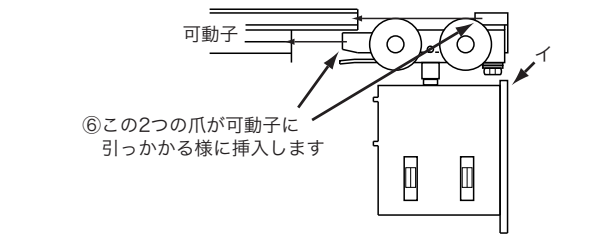


- ⑤ 戸尻側のアの吊車から扉に取り付けてください。

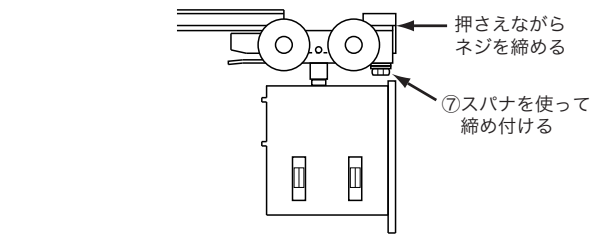


- ⑥ 戸先側のイの吊車を組み付けてください。

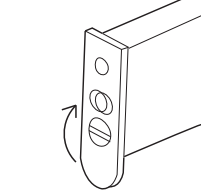
※ 入り込みが悪い場合は、ドアを少し持ち上げ、揺すりながら入れるか、可動子先端を指で下に下げてください。



- ⑦ ②で緩めた吊車金具固定ネジをスパナで締め付けてください。このとき、吊車金具を右図に示す方向に押さえつけながら締め付けてください。

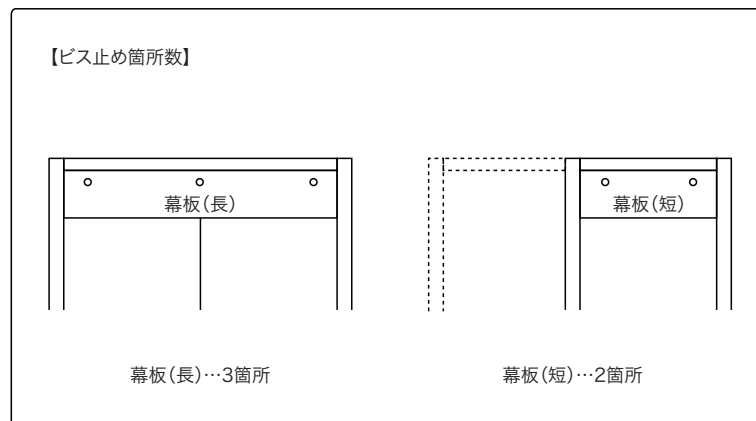
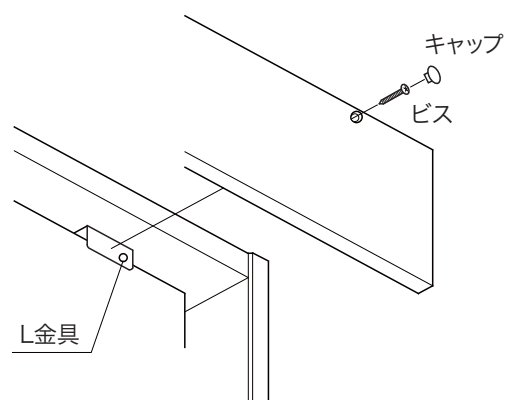


- ⑧ 吊車のロックが「固定」側になっていることを確認してください。



4. 幕板の取付け

- ① 幕板は上枠のL金具に対しビス止めしてください。



※ コードを通すために、幕板に現場で欠き込み加工を行ってください。

注意 取付け作業完了までは、電源スイッチを入れないようにしてください。

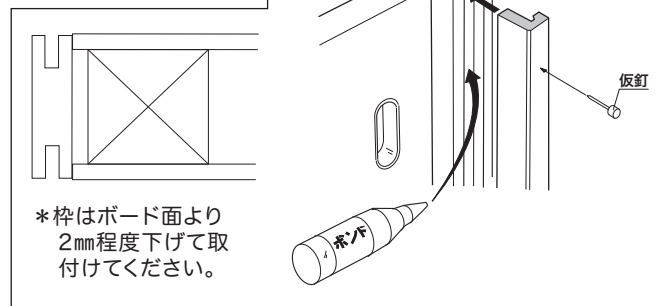
5. ケーシングの取付け(ケーシング枠の場合のみ)

壁・床の施工が終了した後、現場寸法に合わせてカットしてケーシングを取付けてください。
●ケーシングの納め方は縦勝式です。
※形状に縦用と横用がありますので注意してください。

縦ケーシングの高さ寸法を決め、カットして取付けてください。横ケーシングの長さ寸法を決め、カットして取付けてください。横ケーシングも適正寸法を現物に合わせて確認し、カットしてください。

ケーシングには、脚の長さが3種類あります。
壁厚など現場仕様 に合わせて、使い分けできます。

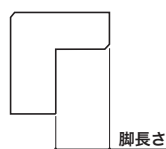
枠のケーシング用溝に接着剤(木工用ボンド・現場手配)を塗布し、固定してください。



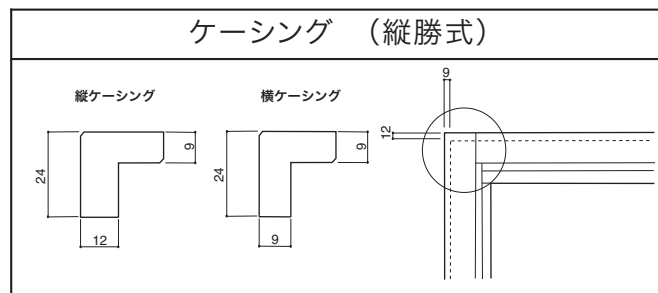
* 枠はボード面より2mm程度下げて取付けてください。

《ケーシング品番》

CX - ○2 - 71 - □



	脚長さ
○	10mm
A	16mm
B	23mm
C	29mm



6. オプションの取付け(オプションの場合のみ)

注意 スポットセンサー、スイッチパネル取付位置には、あらかじめ下地材を入れて下さい。

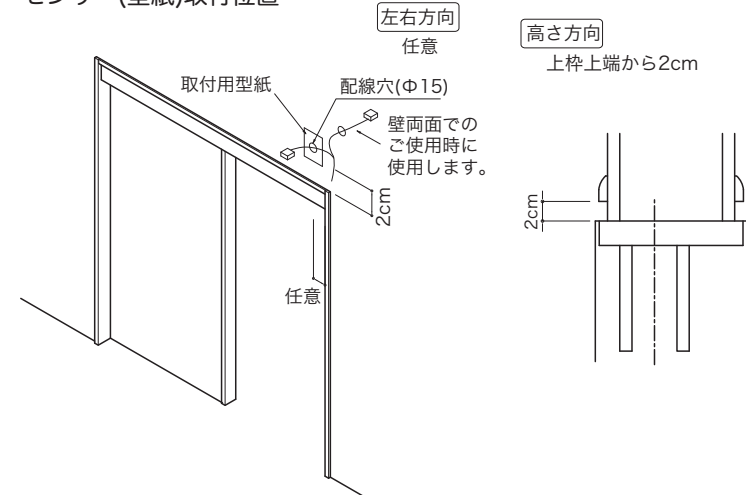
《スポットセンサー取付方法》

- ① センサー取付用型紙を使い、配線穴をあけてください。

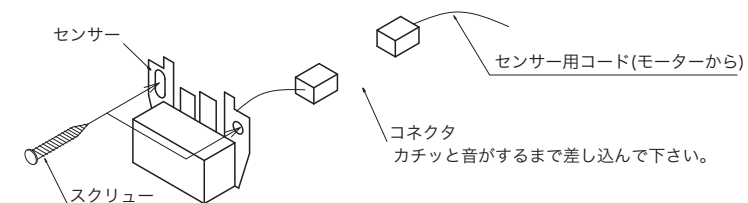
注意

動作確認を必ず行ってから取り付けてください。
○センサーの感知距離は1600mmです。
お子様や車椅子の方など、低い位置の感知が必要な場合は、なるべく低い位置に取り付けてください。
○感知しやすい位置に取り付けてください。
通常、取っ手に近い位置が通路になります。開口の中心より取っ手に寄った位置に取り付けてください。
○障害物にご注意ください。
枠が障害物になることがあります。通過中を感知するためには、取付け下地を調整して感知範囲を確保してください。

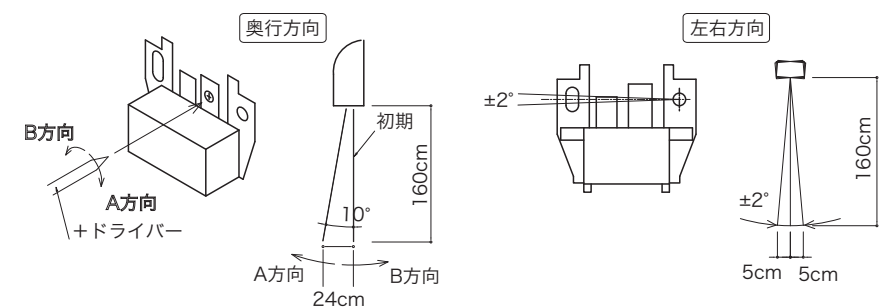
センサー(型紙)取付位置



- ② コネクタを結線し、センサーを壁に固定してください。



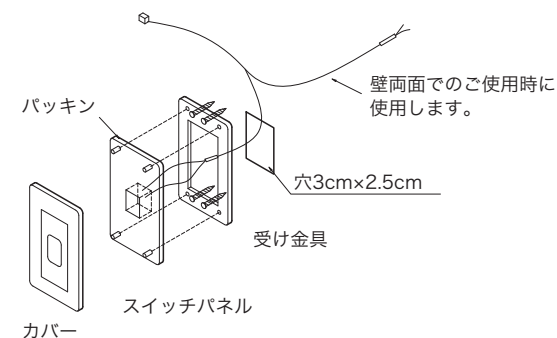
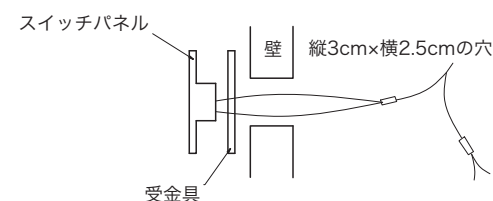
- ③ 角度調整方法
(検知エリア範囲はそのまま、エリアの方向のみ調整できます。)



- ④ カバーをはめて下さい。

《スイッチパネル取付方法》

- ① スwitchパネル取付位置に配線穴をあけてください。 ② スwitchパネルとスイッチ用コードを接続し、スイッチパネルを壁に固定してください。



手動での最終確認

◆ 電源スイッチを切った状態で、ドアをゆっくり動かし、全域で軽く開閉するか、また建付けに問題がないか下記項目を確認してください。

- ① 手動操作荷重
手動で全閉から全開まで動かす時、小さい力で動き、途中で急に重くなるなどの変動がないことを確認してください。(目安として、動き始めは300g・f程度、動きだしてから150g・f程度)
- ② 建付け
ドアが方立て・振れ止めと干渉していない事を確認してください。
- ③ 鴨居の水平度
全開・全閉位置で戸が静止することを確認してください。全閉から勝手に開いて止まる状態では正常に動作しません。
- ④ 戸当たりとの建付け
戸先、戸尻ともに、戸当りと戸の隙間の上下隙間の偏差の確認を行ってください。特に戸先側の偏差が大きい場合は、全閉時に戸当りとの衝突音が大きくなったり、閉まってから少し開く場合があります。

動作確認

- ◆ 開閉ストロークの測定
電源スイッチを入れた後の1回目は、開閉ストロークの測定を行ないます。下記手順で自動的に測定が終わります。
① 電源スイッチを入れると、電源スイッチ横の緑色ランプが1回点滅します。閉じる方向に自動で動き出し、全閉状態で停止します。
② 開く方向へ2cm以上動かすと、全開までゆっくり開きます。その後、全閉位置まで動き、開閉ストロークの設定が終了します。
- ◆ 通常動作
ドアが閉まっている状態で、アシストで起動させると、開端まで動き、開端に到達後、自動的にゆっくり閉まります。
- ◆ 開時間の設定
ドアが全開位置で停止している時間の切替が短・長の2段階できます。(目安として、短：1秒 長：5秒)
- ◆ オプション
センサーのエリア内に入るか、タッチスイッチを押してドアが起動するか確認してください。

施工終了後の確認

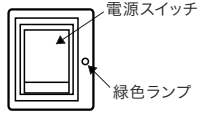
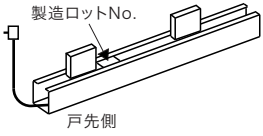
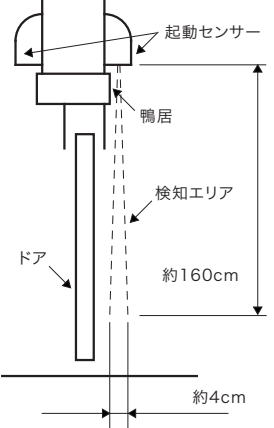
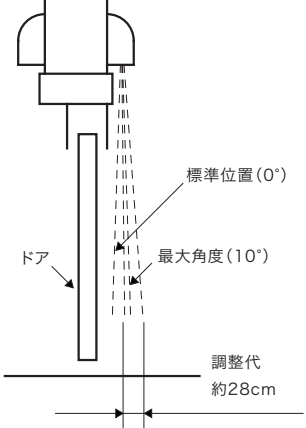
- 施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。
- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。
※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

簡単な診断

故障かな?と思ったら、まず次のことをご確認ください。

	症 状	点検項目	処 置
モニターランプ	ランプでわかる動作状況 	①点滅(1回) ②点灯 ③消灯 ④高速点滅	①電源スイッチ「入」直後 ②動作中 ③補助センサーまたはオプションのセンサー、スイッチの信号入力時 ④保護機能作動中です。自動的に通常モードに復帰します。
	ランプが消えた	全開位置でモータの下にいませんか。 オプションのセンサー・スイッチが「オン」になっていませんか。	内蔵補助センサーが検知した場合は消灯します。 「オン」になった場合はランプが消灯します。
ドアの動き	閉まる途中で反転する 起動センサー	反転する位置で動きが重くないですか。	ドアが全域軽く動くように調整してください。
		ドアの下側が振れ止めと擦っていませんか。	
		その位置でランプが消えていませんか。	
	途中の位置で止まった	前の動作で、その場所で反転していませんか。	同じ場所に障害物があると、その場所で停止します。
		ドアが他の部材と擦っていませんか。	ドアが全域軽く動くように調整してください。
	途中でドアの動きが重い	吊車と可動子の取付けは正しいですか。	ドアを外し、取付けを調整してください。
	ガチャガチャ音がする	吊車金具の取付けは正しいですか。	固定ネジを一度緩めて、取付けを修正してください。
	自動で作動させる時だけチリチリ音がする	可動子・固定子表面に鉄粉が付着していないか確認してください。	レールを取り外し、可動子・固定子表面の鉄粉を取り除いてください。(可動子を組み付ける場合は、向きに注意する。ロットNo.側が戸先側。)
	全開位置で止まっている時間が長い 	全開保持時間の切替が「長」になっていませんか。	「短」に切り替えてください。
		ランプが消灯していませんか。	内蔵補助センサーが熱の変化を検知していないか確認してください。ドアから少し離れるか、暖房等の熱の影響を取り除いてください。 起動センサーがドアの取っ手や周辺の物を検知していないか確認してください。
	ブザーが鳴ってドアが開いたままになった	開ききった位置でドアを押さえていませんか。	正常です。全開停止状態です。解除する場合は閉まる方向へ動かしてください。
		開ききる手前でドアを速く開いていませんか。	
		開ききった位置でドアが他の部材(振れ止め・モヘア・床等)と擦っていませんか。	
	手で動かすと作動するがセンサー・スイッチでは作動しない	センサー・スイッチを押した時、ランプが消灯しますか。 ドアが他の部材(振れ止め・モヘア・床等)と擦っていませんか。	サブコード・センサーコードの配線を確認してください。 軽く動くように調整してください。
	閉まった後、少し戻る	施工時に可動子の向きを入れ替えていませんか。	可動子のマーキング側を戸先側にしてください。 
	閉まった後、再び開く	レールが、ドアが開く方向に傾いていませんか。	レールの水平度を修正してください。
		閉まった時、ドアの下が先に当たっていませんか。	ドアの上下が同時に当たるように調整してください。
起動センサーについて	ドアに近づかないとセンサーが反応しない 	センサー角度は調整されていますか。 	カバーを外して、ドライバーで角度調整をしてください。 